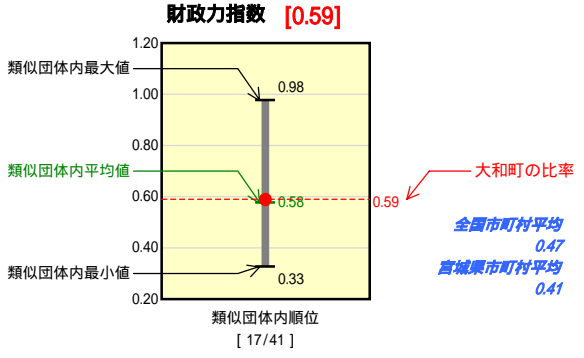


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

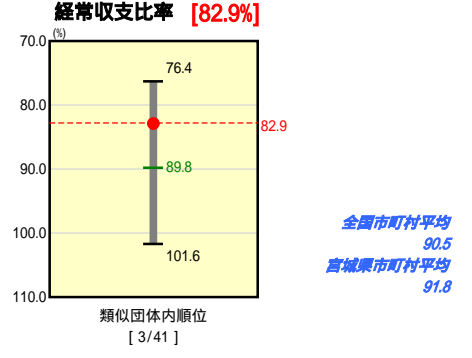
宮城県 大和町

| | |
|------|------------------------|
| 人口 | 24,070人(H17.3.31現在) |
| 面積 | 225.59 km ² |
| 歳入総額 | 8,803,372千円 |
| 歳出総額 | 8,361,770千円 |
| 実質収支 | 329,306千円 |

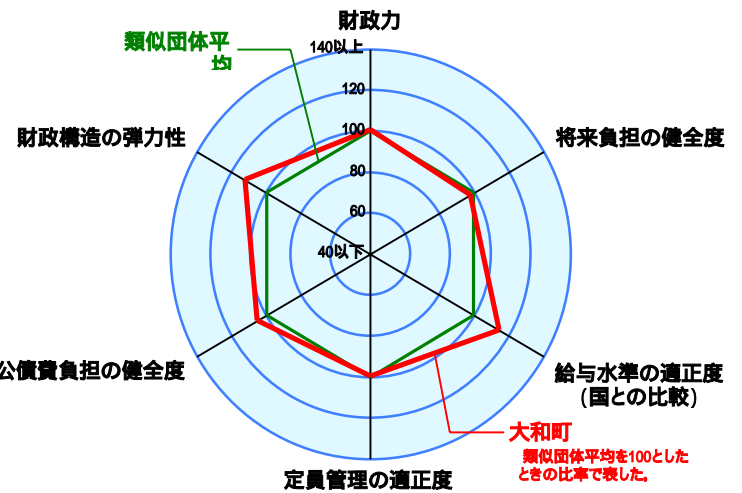
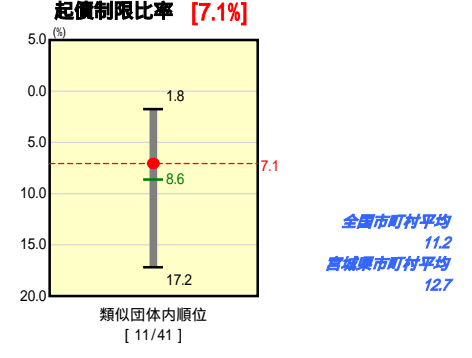
財政力



財政構造の弾力性



公債費負担の健全度

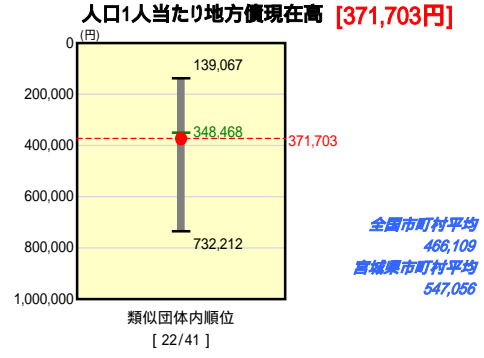


類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

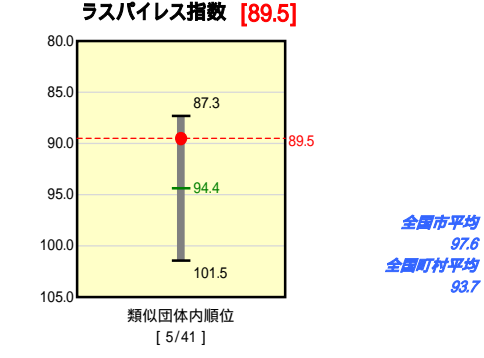
分析概

- 財政力指数**
 - ここ3年間で連続した伸びを見せており、0.59となっている。平成14年度より取り組んでいる税等特別収納対策本部による成果で収納率の低下に歯止めがかかっていること等が要因として挙げられる。今後とも税収の徴収率向上対策(3年間で0.3%の向上)を中心とする歳入確保に努める。
- 経常収支比率**
 - 平成16年度予算編成では、経常的経費5%削減を目標とするシリングにより各事業費の削減をはかったことにより82.9%と類似団体平均を下回っている。今後とも、事務事業の見直しを更に進めるとともに、すべての事務事業(事業数で218事業)の優先度を厳しく点検し、優先度の低い事務事業について計画的に廃止・縮小を進め、経常経費の削減(3年間で1.5%減)を図る。
- 起債制限比率**
 - 過去からの起債抑制策により類似団体平均を下回っているが、地方債元金償還額と発行額を動員しての上限設定などにより、引き続き水準を抑える。
- 人口1人当たり地方債現在高**
 - 現在のところ若干類似団体を上回っている程度であるが、現在庁舎建設の検討が平成20年度建設を目標に行われており、これが具現化されると、平成20年度発行地方債の増加が見込まれる。このことから他事業における交付税未算入地方債の発行の抑制を行い、類似団体平均を上回ることがないよう努める。
- ラスパイレス指数**
 - 人事給与と管理の適正な運用や、高齢者定期昇給制度見直し等により類似団体の中では最低水準にある。今後より一層の給与の適正化(5年間で2%減)に努める。
- 人口1,000人当たり職員数**
 - 町の面積は広いが、ゴミ収集等の民間委託やゴミ処理、し尿処理等を広域行政組合で処理をしており、類似団体とほぼ同じとなっている。今後とも適正な定員管理に努める。

将来負担の健全度



給与水準の適正度(国との比較)



定員管理の適正度

